

**フラメンコの日本人歌手石塚隆充、3月に東京・大阪でスペイン・ツアー再現公演！
～日本を代表するカンタオール=フラメンコ歌手、石塚がスペインツアーライブを東京・大阪で再現!!～**

2013/02/06

アマンドール・コムニカシオン

2011、2012年、2年連続でスペイン・ツアーを実施し、今年夏にはセカンド・アルバムのリリースを控えるなど、現在、精力的に活動している石塚隆充は、フラメンコの日本人歌手（スペイン語でカンタオール）。今春、東京と大阪で公演を開催し、スペインで行ってきたカンテ（フラメンコの歌）のコンサートを再現する。

石塚は過去2年のツアーで、ヘレスのペーニャ「ロス・セルニカロス」(2011)、セビージャのペーニャ「トーレ・マカレーナ」(2012)など、各地を代表する歴史と権威ある会場で、日本人初となるカンテのソロ公演を行ってきている。2011年ツアー時には、日本人歌手の単独ライブとしてスペインでも注目を集め、スペイン国营放送ラジオの人気生放送番組やフラメンコ専門チャンネルなどに出演した。

今春の公演では、スペイン・ツアー『Taka de Tokyo al cante (タカ・デ・トーキョー・アル・カンテ)』で共演したミュージシャンを招聘するというコンセプト通り、『Taka de Tokyo al cante～ヘレスの仲間と～』と銘打たれており、石塚のスペイン・ツアーが日本で再現されることとなる。

共演陣は、フラメンコ・ギターのドミンゴ・ルビチと、パルマ（手拍子）のホセ・ルビチ、アリ・デ・ラ・トタで、スペインのフラメンコの聖地ヘレスから来日する。ドミンゴは、石塚のツアーだけでなく、ファースト・アルバム『Reliquia(レリキア)』（聖なる宝物）にも参加し、現在のフラメンコにおける歌伴奏の第一人者というべき存在。また、ホセとアリは、フラメンコに欠かせない独特のノリとリズムを手拍子とかけ声だけで生み出すパルマの名手たち。公演スケジュールは東京のセルバンテス文化センターで3月21日（木）、大阪のアルディエンテで3月24日（日）。

本公演のチケットは全てメールによる予約受付で、現在取り扱い中（詳細は以下の通り）。

石塚隆充カンテ・コンサート 2013 --- 「Taka de Tokyo al cante ～ヘレスの仲間と～」

出演：石塚隆充（カンテ）、ドミンゴ・ルビチ（ギター）、ホセ・ルビチ、アリ・デ・ラ・トタ（パルマ）



3月21日（木）18:30 開場 19:30 開演
セルバンテス文化センター東京(地下1階オーディトリウム)
〒102-0085 東京都千代田区六番町 2-9
セルバンテスビル

3月24日（日）16:00 開場 17:00 開演
アルディエンテ
〒532-0023 大阪市淀川区十三東3丁目 28-16
Kimura Bld. B1F

料金：前売り ¥5,500 当日 ¥6,000 全席自由
問い合わせ・予約：
takante2010@gmail.com（石塚隆充カンテ・ライブ係）
スタジオアルスール 06-6262-5539（大阪公演のみ取り扱い）

助成：公益財団法人スペイン舞踊 MARUWA 財団 平成 24 年度
助成事業

後援：スペイン大使館、スペイン国营セルバンテス文化センター
東京、ANIF 日本フラメンコ協会、アテネ・ミュージック&アーツ
（株式会社アテネ教育社／株式会社麴町メディカル）

本件に関してのお問い合わせ

Amandar Comunicación

アマンドール・コムニカシオン

prensa@amandar.net

石塚隆充 プロフィール

日本を代表する実力派カンタオール（フラメンコ歌手）。学生時代にカンテ（フラメンコの歌）に出会い、卒業後1998年よりスペインへ渡る。フラメンコの本場ヘレス・デ・ラ・フロンテーラのサンティアゴ地区に滞在し、現地のジプシー達に学ぶ。同時期、フラメンコ・ギタリスト沖仁とのユニット「Taka y Jin（タカ・イ・ジン）」として現地で活動開始。通算8年間ほどスペインに滞在し、現地のタブラオ（フラメンコショーの鑑賞できるレストラン）を始めフェスティバルやコンサート等へ多数出演する。日本人離れしたその声と歌唱力はスペイン人からも定評がある。2006年より日本に拠点を移し、ソロ活動を精力的に展開する他、フラメンコ界以外でも幅広い活動をしている。

2009年には初のソロアルバム『Reliquia（レリキア）』（聖なる宝物）をTONETONE RECORDSよりリリース。カンテに日本語を取り入れるなど今までに無かったスタイルに挑戦している。

2011年12月スペインの3都市をまわるソロ・ツアー『Taka de Tokyo al cante（タカ・デ・トーキョー・アル・カンテ）』を行う。ヘレス・デ・ラ・フロンテーラのペーニャ「ロス・セルニカロス」にてツアーを開幕。「ロス・セルニカロス」はフラメンコの中心地のカディス県で一番歴史のあるペーニャ（フラメンコ愛好家の集う会）で、同ペーニャで単独カンテ・ライブを行った初の外国人となった。この模様はスペインの現地テレビ、国営放送ラジオ、新聞等多くのメディアに取り上げられ、「日出ずる国のカンタオール、TAKA」と紹介され絶賛を浴びる。2012年10-11月にもアンダルシアの3都市をまわるツアー『Taka de Tokyo al cante』第2弾を実施。フラメンコのもう一つの中心地であるセビージャにて、同市で最も権威のあるペーニャ「トーレ・マカレーナ」で日本人初となるカンテのソロ公演を行った。

2013年夏2ndアルバムリリース予定。

2001年	Taka y Jin 1stアルバム『Banco de Santiago』発売
2002年	フラメンコ舞踊手の伊集院史朗、吉田光一、ギタリストの沖仁らとユニット「Cuatro Caminos（クアトロカミーノ）」を結成、2005年までに5度の全国ツアーを展開
2005年	スペイン映画『Leyenda del tiempo』に歌手として出演
2006年	Taka y Jin 2ndアルバム『Desde Tokyo』発売
2008年	EMI JAPANより発売されたラテン・オムニバス・カバーアルバム『Puerta』にローリング・ストーンズの『Angie』で参加
2009年11月	初のソロアルバム『Reliquia』（聖なる宝物）をTONETONE RECORDSよりリリース
2010年4-6月	石塚隆充1stアルバム『Reliquia』リリース・ツアー（全国14箇所）
2011年4月	『Taka Atakando』春のminiツアー2011（全国5箇所）
2011年9月	東北復興支援ライブ（福島・仙台にて）開催
2011年12月	スペイン・ツアー『Taka de Tokyo al cante』、ヘレス、マドリード、サンルーカルの3都市にてソロリサイタルを開催
2012年10-11月	スペイン・ツアー第2弾『Taka de Tokyo al cante』、マラガ、グラナダ、セビージャの3都市にてソロリサイタルを開催
2012年11月	東郷神社の新嘗祭にてカンテ奉納を行う

本件に関してのお問い合わせ

Amandar Comunicación

アマンダール・コムニカシオン

prensa@amandar.net

ディスコグラフィー

	<p>2009/11/04 『Reliquia (レリキア)』 石塚隆充</p> <p>石塚隆充の待望の 1st アルバム『RELIQUIA (レリキア)』！構想 7 年、制作に 3 年半を費やした今作は、石塚のカンタオールとしての魅力はもちろん、ソングライティングの才能も凝縮された、フラメンコの新たな可能性を提示する最高傑作。</p>
	<p>2006/09/27 『Desde Tokyo』 Taka y Jin</p> <p>トラディショナルなカンテ・フラメンコの世界をストイックに追及するデュオ、『Taka y Jin (タカ・イ・ジン)』の 6 年ぶりとなる 2nd アルバム。 2005 年 9 月に新宿エル・フラメンコにて行われたライブ音源を中心に、3 曲のスタジオ録音を加えた全 8 曲収録。</p>
	<p>2001 『Banco de Santiago』 Taka y Jin</p> <p>フラメンコギタリスト沖仁との意欲作。 フラメンコの本場スペインのヘレスにおいて活動を開始したトラディショナルなフラメンコ・ユニット『Taka y Jin (タカ・イ・ジン)』のデビュー・アルバム。 ギターと歌だけのシンプルでいて最もコアな、昔ながらの土臭いフラメンコの世界。録音はスペイン及び日本。全 7 曲収録。</p>
	<p>2009/06/20 『Puerta』</p> <p>ラテン・ミュージックへの P U E R T A (扉) をやさしく開いてくれる、陽気で、そして時々哀愁が顔を出すラテン・カバー・アルバム。ローリング・ストーンズやビートルズから、サザンオールスターズ、一青窈まで、洋邦の名曲が生まれ変わっている。 ローリングストーンズの『アンジー』のカヴァーで参加。石塚のアレンジに、沖仁がアレンジを加えた楽曲。</p>